

静岡県子育て
支援特別企画
ママたちの
座談会



静岡の子育て真っ最中のお友達同士のママさん3名に、
子育てと仕事について聞いてみました。
これから、お仕事をしてみたいと思っている方、必見です。



近藤恵理さん (36歳)

7歳の男女の双子、4歳の次女の3人を持つ結婚8年目のママ。現在は週3回午前のみコールセンターでの仕事に就く。



鈴木典代さん (38歳)

4歳と1歳の2人の男の子を持つ結婚6年目のママ。結婚後は派遣で大学事務の仕事をしていましたが、出産を機に専業主婦に。



重山香緒里さん (35歳)

4歳の長男、1歳の長女を持つ結婚6年目のママ。結婚後は整形外科のリハ助手をパートでつとめ、出産を機に専業主婦に。

近藤さんだけが現在お仕事されていますが、お仕事をしようと考えたきっかけは何がありましたか？

近藤さん「3人の子供と一緒にいる毎日は、もう1日があっという間です。それが日中ふと1人になった時、何ともいえない空虚感があり、子供達が小学校や幼稚園に行き始めたら何をすればいいんだろう、このまま主人だけによりかかるのは申し訳ないと思ったんです。それで仕事をしてみようと思いました。でも、お迎えまでに帰れること、土日休みであることが条件でしたので、思うようには仕事がなく、1年くらい時間をかけて探しました。そして、前職でも経験のあった電話対応の仕事を探し見つけることができ、現在は月～水の週3回、午前中だけ仕事をしています。」

他のお二方は、これからどんな仕事をやってみたいと思いますか？

重山さん「近藤さんは妊娠中に保育士の資格も取ってすごいですね。私も手に

職があるといいなと思います。といっても趣味も兼ねて自分も綺麗になれるもの、歯科助手とかネイリストとか。ネイルはちょっと勉強も始めてみようかと思っています。いろいろな方と会話することができれば、自分にとっても刺激になり、社会とつながっているなど感じることができるんじゃないかなと思います。」

鈴木さん「私は、自分に何ができるのか分からなくて。子育てしながら、あれがあれば、これがあつたらと思いついたりすることがあるので、お料理とかお掃除とか、主婦目線で何かできたらいいなと思います。商品モニターなどをぜひやってみたいです。」

お仕事への不安はどんなことがありますか？近藤さんは、不安はありましたか？

近藤さん「そうですね。仕事に対して7年のブランクがありましたし、週3回とはいえ、家庭との両立ができるか、自分自身が大丈夫だろうかという不安

はありました。前職の旅行代理店業へ派遣登録による復職も考えましたが、今のシステムや若い方達についていけるか心配でしたし、保育士としては条件に合う仕事が多くなって、現在の仕事は時間も無理なく、仕事内容も私にぴったりで、すぐに慣れることができました。できるだけ継続して、子供の成長に応じて少しずつ勤務時間も増やしていけたらと思います。」

鈴木さん「私も両立できるのが一番の不安かな。もしかして自分が考えているハードルが高いのかも。家事、育児、時間、仕事内容など色々なことを考えているとマイナス面ばかりが気になってしまふんです。でも子供の手が離れたら仕事をするのが主人との約束なので、何か前向きに考えていきたいと思っています。」

重山さん「うちの主人は、私に家を守って欲しいと思っているので、そ

うちで家庭が疎かにならないような仕事に出会えるといいなと思います。子供が病気の時が心配なので、無理のない自宅ですることでもいいかも。私自身は仕事をしたいと思っているので、主人との折り合いですね。」

鈴木さん「そうね。いろんな家庭があるから、家族との折り合い、バランスが一番かな。」

近藤さん「仕事をしても疲れてしまつて家でイライラしたくないし。逆に仕事をする事で、いつもイキイキと笑顔でいられるようにできればいいな。」

鈴木さん「私もまだ手が離れるまで時間はあるから、いい仕事に出会えるといいなと思います。」

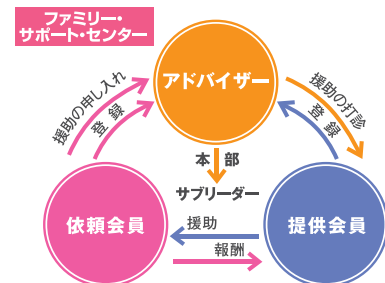


働くママを応援する
「ファミリー・サポート・センター」

地域において子どもの預かり等の援助を受けたい人(依頼会員)と援助をしたい人(提供会員)が会員となり、有償で助け合う相互援助の仕組みです。市町が設置し、相互援助活動を結ぶ運営等を行っています。

<育児の援助活動の例としては…>

- 保育所までの送迎、保育所の開始前や終了後の預かり
- 学校の放課後や学童保育終了後の預かり
- 学校の夏休みなどに係る預かり
- 保護者等の病気や急用等の場合の預かり
- 冠婚葬祭や他の子供の学校行事の際の預かり
- 買い物等外出の際の預かり など



実施市町などファミリー・サポート・センター事業の詳細は県HPをご覧ください http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-210a/green/etc/f_center.html

静岡県は子どもを生み育てやすい環境づくりの推進のため、子育てと仕事の両立に向けた様々な支援に取り組んでいます。(静岡県健康福祉部子育て支援課)

このページへのご意見・ご感想をお待ちしています。kosodate@atimes.co.jp